

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- ① 地域・保護者とともに協働できる学校づくりを行うために、さまざまな立場や視点から学校運営や学校教育活動への協働・参画・支援等のあり方についての意見や考え等を交流することを通して、子どもを支える学校づくりを推進します。
- ② 学校づくりビジョンにもとづいた学校評価のあり方について、検討・協議を重ね、保護者や地域の方々の思いや願いがより反映された学校づくりを推進します。
- ③ 学習支援ボランティアやゲストティーチャー等、さまざまな教育活動に保護者や地域の方々等との協働活動を取り入れていくことで、「地域とともにつくる学校」を推進します。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

- 実物にふれる、実際にやってみる体験学習を多く取り入れ、五感で味わう学習を大切にしています。地域の方をゲストティーチャーに招いて一緒に活動し、子どもたちとのかかわりやつながりを広げられるように取り組んでいます。

<地域や人との出会い・発見からの学び>

【1年 生活科『むかしのあそび体験』】

地域高齢者の会“日永ついたち会”の方々にお越しいただき、剣玉やおはじき、お手玉やコマ回し等、昔の遊びを教わり一緒に遊びました。昔の体験談もお話しいただきました。



【5年 総合的な学習『日永の魅力を伝えよう』】

自分たちの暮らす町にはどのような人がいて、町を支えるためにどのようなことを行っているのかを聞き取りました。それぞれ異なった仕事をしている人、役割を担っている人がいて、町がつくられていることを知ることができました。写真は“日永うちわ”についてイナトウさんからお話を聞いた後、うちわ作りを指導していただいているところです。



【4年 総合的な学習『日永つんつくおどり体験』】

“日永つんつくおどり保存会”の方々にお越しいただき、地域の伝統的なおどりについて学びました。つんつくおどりを地域に残そうとする保存会の方々の強い思いにふれることができました。子どもたちはおどり方を教えていただき、実際につんつくおど



り体験をしました。さらに、運動会の表現にも取り入れました。

<近隣の学校・園との交流>

【5年 総合的な学習『日永中央保育園・泊山幼稚園園児との交流』】

“日永中央保育園・泊山幼稚園”の園児と交流しました。ペアをつかって校舎内を探検したり、体育館や運動場でゲームをしたり集団で遊んだりしました。小さい子どもたちがどうしたら楽しんでくれるのか、しゃがんで話したり、ジェスチャーを交えたり、工夫をしてかかわろうとする姿が見られました。



【6年 総合的な学習『ものづくり体験学習』】

四日市工業高校の協力を得て、高校の実習室を使って「ものづくり体験」に取り組みました。文鎮づくりやキーホルダーづくり、七宝焼き、ろくろ体験、科学実験等、四日市工業高校の教員と生徒の指導のもと、実際に機械・工具を扱って学習が進みました。子どもたちは初めて経験することばかりで、いきいきと活動をしていました。



<学習活動への支援>

【5年 6年 外国語活動】

英語の堪能な保護者を学習支援ボランティアとして招き、発音のモデルや会話の相手等をしていただきました。児童に、より多くの発音やリスニングの機会を持つことができ、授業の質の向上に貢献していただきました。



【読書支援サークル『☆マジョリカ☆』による読み聞かせ】

本校保護者らで組織された、読書支援サークル『☆マジョリカ☆』が読み聞かせを行っています。毎週木曜日の20分休みに図書室や学習室で読み聞かせ会が開かれ、低学年を中心に毎回40～70人の子どもたちが読み聞かせを楽しんでいます。また、定期的に学年ごと



とに時間が割り振られ、毎週木曜日の朝学習の時間には、各学級ごとに読み聞かせが行われています。夏季休業中も3日間、図書室を開放し、読書活動を推進しました。

◇運営協議会会議運営の工夫◇

子どもたちの様子を知ってもらうため、授業や行事の参観をしていただく機会を設けています。今年度も適宜、学校行事や公開授業の日程をお知らせし、学校の様子を見ていただけるようにしました。限られた時間をどう効果的に使うのかを今後も模索していきます。

(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

本校の子どもたちの現状が示された「全国学力・学習状況調査」や「新体力テスト」の結果分析をもとに、『学力向上』や『体力向上』に向けた本校の課題を改善するため、

実際に学校での子どもたちの様子を見ていただき、その都度運営協議会の中で委員の皆さんから意見をうかがってきました。教員とは違った視点からいただいた学習環境や教育内容に関するご意見、ご示唆を管理職から職員会議や校内研修会においてフィードバックし、改善に努めてまいりました。その結果、以下のような効果がみられます。

- ① 落ち着いた雰囲気の中で学習している子どもが多い。また、学習課題や板書等が工夫され、授業改善が図られている。
- ② 学校評価に対し、少数意見にも目を向けているところがよい。肯定的な意見や多数を占めている考えだけでなく、学校を多面的に考えていくことは大切である。
- ③ 学校や地域でよく顔を合わせるためか、子どもたちと委員との距離が近くなり、「この人なら安全・安心」という意識が子どもたちの中で高まっている。以前と比べ、子どもたちの表情が穏やかで明るくなってきており、あいさつも積極的になっている。
- ④ 高学年がいい手本となり、低学年にメッセージを送れるような場を設けていくことが、求められる。上級生が下級生のめんどうをみようとするので、下級生も上級生を頼りにし、いい人間関係が構築されていくように感じる。

運営協議会委員をはじめ、地域の方々等に学校教育活動へ関わっていただくことで、教職員も子どもたちも多くの刺激を受け、意欲的に取り組もうとする姿が見受けられました。このことが本校の学校運営に関して好循環を生んでいるように感じます。

3 今後に向けて

各学年において、生活科や総合的な学習の時間を中心に、豊富な知識や技術を持つ保護者、地域の方々に関わっていただきながら学習内容の充実を図っています。運営協議会の中で意見をいただき、取組内容を整理して調整を行うとともに、新たな人材の発掘や拡充をしていきたいと考えています。

また、地域・家庭・学校が一体となり子どもたちと向き合うことで、基本的な生活習慣の定着や安全確保の意識を高めることにつながると考えています。今年度も、保護者や地域の方とのつながりは深く、さまざまな活動にご支援・ご協力をいただくことができました。運営組織の仕組みを整える過程の中で、学校と地域・家庭が協働し、子どもを育てようとする意識が高まればと思います。

さらに、学校運営協議会で、地域の方の子どもたちへの支援が子どもたちのためだけでなく、来てくださる地域の方へ元気を与えていることがあるということを教えていただきました。

今後も「地域とともにある学校」として、地域の特色や教育力を可能な限り活用し、子どもたちの将来に生きる力を育んでいきたいと思っています。

別紙B

令和元年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立日永小学校

委員長 堀越 博幸

校長 松月 雄一

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5	8日(水) 第1回運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・「日永小学校学校づくりビジョン」の説明と承認 ・年間活動計画等について ・校内授業参観 ・意見交換
6	17日(月) 第2回運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上の取組について ・校内授業参観 ・児童の様子について
7		・夏休み図書開放 25日(木)
8		・夏休み図書開放 22日(木)、27日(火)
9	27日(金) 第3回運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> ◇運動会参観 21日(土) ・児童の様子と指導について ・熱中症対応及び運動会総括について ・本校児童の学力の状況と今後の取組について 「全国学力・学習状況調査」等の結果から 児童質問紙の結果から ・授業参観
10		
11	11日(月) 第4回運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・本校児童の体力の状況と今後の取組について ・授業参観、児童の様子 ◇持久走記録会参観 28日(木)、29日(金) ◇アートフェスタ鑑賞 27日(水)～29日(金)
12		
1		◇長なわ記録会参観 30日(木)
2	13日(木) 第5回運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・全国小学校英語実践研究会公開について ・学校満足度調査結果について ・授業参観、児童の様子について ・学校関係者評価 ◇6年生送る会公開練習参観 20日(木)
3		◇卒業式出席